

那須マテリアル株式会社

環境報告書

2015



Nasu Material Corporation environmental report



NASU-MATERIAL

<http://www.nasu-material.co.jp>

環境報告書の作成に当たって

この環境報告書は、当社における2014年 4月から2015年 3月までの環境に関する活動の成果を取りまとめ、「環境報告書2015」として公表するものです。

●報告書対象組織

那須マテリアル株式会社

- ・本社工場（栃木県大田原市）
- ・東北事業所（福島県西白河郡西郷村）

●報告書対象期間

2014年 4月 1日 ～ 2015年 3月31日
(平成26年度)

●URL

<http://www.nasu-material.co.jp>



●CONTENTS

1. 会社概要（グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧）	3
2. 工場施設及び設備の概要	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組み-（1）	6
EMSの取り組み-（2）	7-8
5. 教育訓練	9
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例	10
7. 地球温暖化対策の取組み	11
8. 地域社会への取組み	12
9. その他の環境活動	12

1. 会社概要

会社概要

社名 那須マテリアル株式会社
 創設年月日 平成 9年 9月 9日
 操業開始日 平成12年 4月 1日
 本社 栃木県大田原市北金丸2122
 東北事業所 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5

資本金 56,000,000円(平成26年3月現在)

役員 代表取締役 星 彰治
 取締役 星 豪紀
 取締役 星 祐見子
 監査役 高梨 友子

環境関連グループ会社一覧

エヌズホールディングス株式会社
 本社 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平 175-5
 TEL. 0248-48-0099
 大田原支店 栃木県大田原市北金丸 2122
 TEL. 0287-20-2660



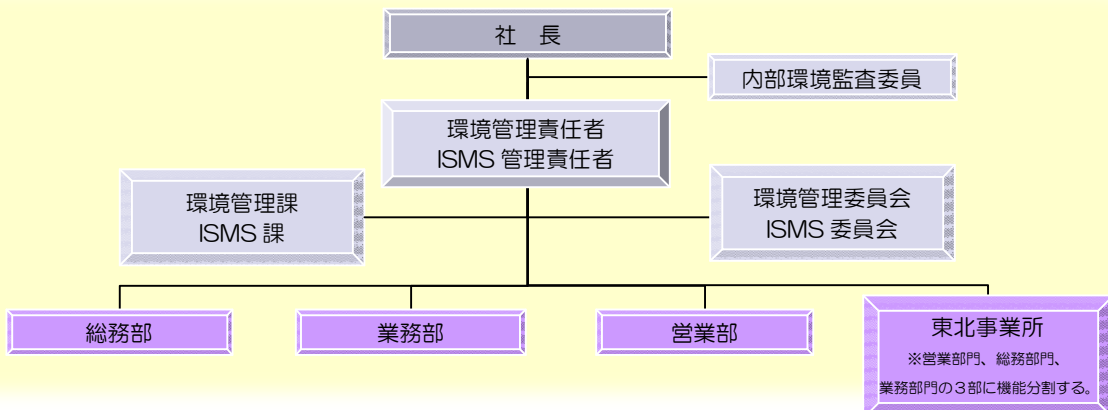
秋田マテリアル株式会社
 秋田県にかほ市平沢字深谷地 16-8
 TEL. 0184-74-5277



グループ会社履歴

- 1997年 9月 那須マテリアル株式会社を設立
- 2000年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
栃木県産業廃棄物処分業許可を取得
- 2002年11月 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
12月 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- 2003年 6月 星 彰治が代表取締役に就任する
- 2004年 1月 那須マテリアル株式会社本社 ISO14001の認証を取得
- 2005年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
栃木県産業廃棄物処分業許可を更新
- 2006年 4月 福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として
東北事業所を開設する
9月 一般労働者派遣業許可を取得
10月 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
東北事業所を追加登録
- 2007年 8月 那須マテリアル株式会社本社・東北事業所
ISO27001の認証を取得
9月 秋田マテリアル株式会社を設立
10月 ISO14001更新審査合格
11月 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
12月 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新
- 2008年 1月 エヌズホールディングス株式会社を設立
5月 秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業
許可を取得
12月 郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- 2009年 4月 那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了
- 2010年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
栃木県産業廃棄物処分業許可を更新
7月 ISO27001 更新審査合格
9月 茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
11月 ISO14001 更新審査合格
- 2011年 9月 栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」に
適合認定(処分業・収集運搬業)
11月 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。
群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」
に適合認定
- 2012年 1月 福島県において「優良産廃処理業社認定制度」
に適合認定
- 2012年 9月 テュフラインランドジャパン株式会社より、自社
太陽光発電モジュールの適合証明書及び、ライセンス
が発行される
- 013年 2月 太陽光発電設備(第一期)での売電を開始
4月 太陽光発電設備(第二期)での売電を開始
12月 東北事業所にて太陽光発電事業の開始
- 2014年11月 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新

組織体制



2. 工場施設及び設備の概要

本社工場

所在地	栃木県大田原市北金丸 2122
敷地面積	33,510 m ²
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル ●シリコンスクラップの売買及びソーラーグレードシリコンインゴットの売買 ●太陽光を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械機器の販売 設置 ●環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育 ●建設資機材・環境機器のレンタル事業

保有設備 (本社所有)

名称	数量	名称	数量
破砕機	1	ローリフト	1
粉砕機	1	トラックスケール	1
被覆電線処理装置	1	プリンター付デジタル計量器	1
発泡スチロール減容再生機	1	2tトラック	2
フォークリフト	2	4tトラック	1

保有設備 (本社レンタル品)

名称	数量
3.8m敷鉄板	150枚
三脚付光波ブリズム	3
バックホウ油圧ショベル	2



本社事務所

東北事業所

所在地	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5
敷地面積	2,940 m ²
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル ●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買 ●太陽光を使用した発電業務、電力の販売

保有設備 (東北事業所所有)

名称	数量
フォークリフト	2
プリンター付デジタル計量器	1
シリコン自動選別機	1



東北事業所

3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 - (1) 太陽光発電業務における電力の供給
 - (2) 電力及び軽油の消費削減、及びCO2排出量の削減
 - (3) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
 - (4) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2013年 3月31日

那須マテリアル株式会社
代表取締役 星 彰 治

4. EMSの取り組み(1)

環境目的・目標一覧(全社分)

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 11年度目	
				2014年(H.26)度目標 期間:2014年4月～ 2015年3月	目標の使用量、 排出量等
1.省エネ・ 省資源対策	1.電力使用量の削減 (100V・200V)	本社の照明・事務機器・業務部門関連設備、東北事業所関連の照明・事務機器・業務部門関連の施設設備等の稼働に伴う電力の消費 東北事業所の業部門関連設備(プレス機他)稼働に伴う電力の消費	本社H18実績: 53,654kwh 東北H24実績: 24,612kwh	■基準値比 本社6.8% 東北1.0% 削減	74,372kwh
	2.作業資材の消費削減	業務部門関連の作業資材の消費 ※基準は手袋の消費数	H23年度消費量 2,005双	■基準値比3.0%削減	1,944双
	3.水道水使用量の削減	東北事業所で使用している水道水の消費	H23年度消費量 174㎡	■基準値比3.0%削減	169㎡
2.廃棄物等 排出対策	1.車輛からの排気ガスの削減①	営業用自家用車使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2排出削減目標に置きかえる	
	2.車輛からの排気ガスの削減②	業務に関わる車輛(トラック)使用に伴う排気ガスの排出	データなし	■CO2排出削減目標に置きかえる	
	3.CO2の排出削減	電力及び軽油の使用に伴うCO2の排出	H22年度実績値: 51,985kg	■基準値比 本社4.0% 東北3.0% 削減	50,136kg
3.施設・設備・ 作業関連の 緊急時対策	1.業務用トラック 関連の予防保全	・待機中の騒音 ・油漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故	H.17～19年度実績: 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
	2.収集運搬作業 関連の予防保全	・解体排出作業中の破損事故 ・トラック捕縛作業中の落下事故 ・トラックの過積載運送、運搬中の荷物の落下事故	H.17～19年度実績: 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
4.その他 環境に有益な 項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18年度実績値:本社再生品の実績値(鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)		H.18年度実績: 1,113,058Kg	■基準値比 12.0%増加	1,246,625 kg
	2.会社周辺のクリーン活動		H21年度実績 1回	■目標実施回数	2回
	3.社員による有価物類の回収		H25年度回収実績 ペットボトル:111.8kg ダンボール:1,052.5kg アルミ缶:117kg スチール缶:49.5kg	■目標:基準値比 1%増加 達成率 100%以上	ペットボトル: 112.9kg ダンボール: 1,063.0kg アルミ缶:118.2kg スチール缶:60.1kg
	4.太陽光発電事業によるCO2の削減		データなし	■実績値の集計を実施する。	
	5.ドライブレコーダー導入によるエコ運転管理		ドライブレコーダーシステム診断得点 75点以上	■目標:基準得点1%増加 無事故プログラム評価75.75点以上	
	6.新規アイテムのリサイクル業務		-	-	

今期、電力の使用については、100Vと200Vを合算した新たな目標を設定し、目標達成に向けて努力しました。

有益な項目については、「新規アイテムのリサイクル業務」を追加し、6件となりました。

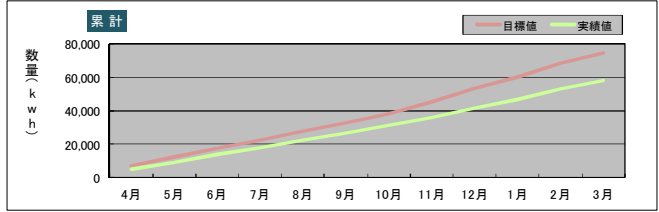
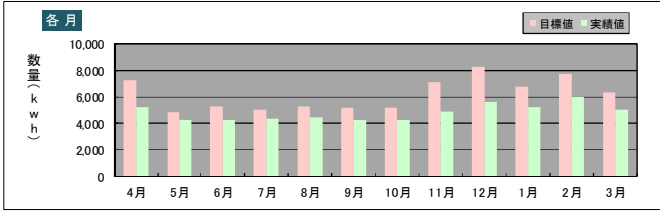
また、「フォークリフトの予防保全」については、影響評価の結果、除外と致しました。



4. EMSの取り組み- (2)

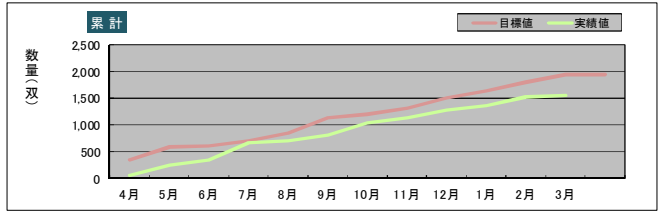
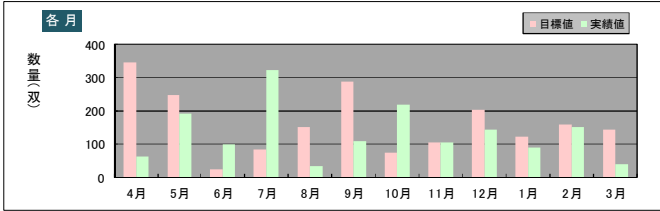
環境監視実績データ一覧 (全社分その1)

■電力使用量100V・200V



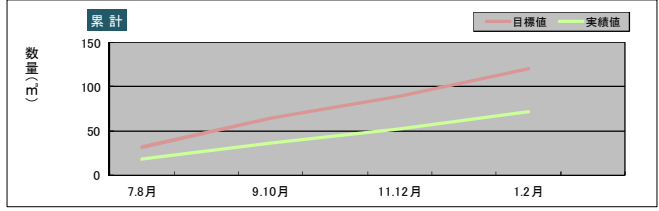
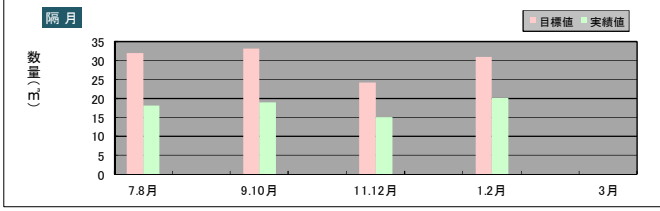
1.電力使用量(100・200v)		年度目標		基準値比: 本社6.6%削減 東北6.0%削減		単位:kwh							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H18年度・H24年度実績値	7,653	5,084	5,612	5,299	5,620	5,422	5,408	7,470	8,726	7,100	8,193	6,679	78,266
目標値	7,242	4,830	5,322	5,019	5,316	5,135	5,169	7,112	8,310	6,773	7,789	6,353	74,372
実績値	5,239	4,232	4,279	4,385	4,415	4,277	4,247	4,877	5,635	5,200	6,031	5,059	57,876
対目標比	138%	114%	124%	114%	120%	120%	122%	146%	147%	130%	129%	126%	-
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目標値	7,242	12,078	17,399	22,418	27,729	32,864	38,033	45,145	53,456	60,228	68,018	74,371	74,371
実績値	5,239	9,471	13,750	18,135	22,550	26,827	31,074	35,951	41,586	46,786	52,817	57,876	57,876
対目標比	198%	127%	127%	124%	123%	123%	122%	126%	129%	129%	129%	129%	129%
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■作業資材の消費



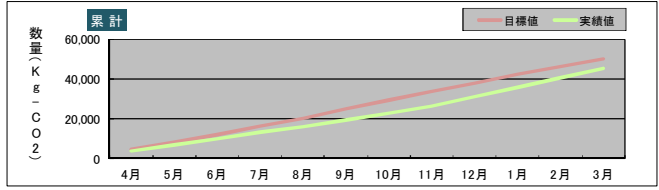
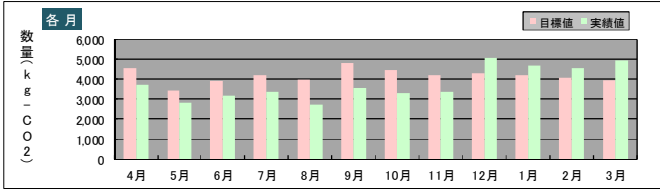
2.作業資材の消費		年度目標		基準値比30.0%削減		単位: 双							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年実績値	355	255	25	87	155	297	76	107	209	127	164	148	2,005
目標値	344	247	24	84	150	288	74	104	203	123	159	144	1,944
実績値	63	192	100	322	34	109	219	104	143	88	152	41	1,567
対目標比	546%	129%	24%	26%	441%	264%	34%	100%	142%	140%	105%	351%	-
評価	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
目標値	344	591	618	699	849	1,137	1,211	1,315	1,518	1,641	1,800	1,944	1,944
実績値	63	255	353	677	711	820	1,039	1,143	1,286	1,374	1,526	1,567	1,567
対目標比	546%	232%	173%	103%	119%	139%	117%	115%	118%	119%	118%	124%	124%
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■水道使用量



3.水道使用量		年度目標		基準値比30.0%削減		単位: m							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年実績値	-	-	-	33	33	34	25	32	32	31	31	31	124
目標値	-	-	-	32	32	33	24	31	31	31	31	31	120
実績値	-	-	-	19	19	19	15	20	20	20	20	20	72
対目標比	-	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-
評価	-	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
目標値	-	-	-	32	65	98	120	152	184	216	248	280	120
実績値	-	-	-	18	37	56	72	88	104	120	136	152	72
対目標比	-	-	-	178%	176%	176%	172%	172%	167%	167%	167%	167%	167%
評価	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

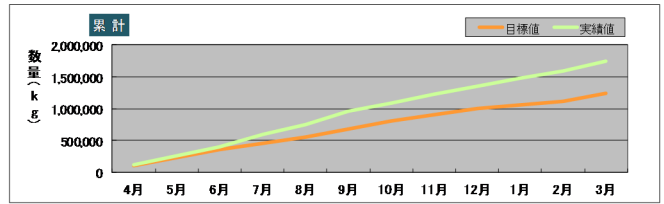
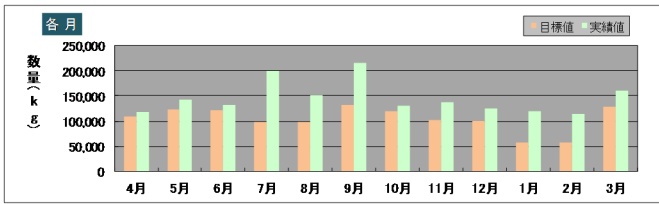
■CO2排出量



4.CO2排出量		年度目標		基準値比: 本社40%削減 東北30%削減		単位: kg-CO2							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年実績値	4,720	3,572	4,051	4,357	4,144	4,978	4,614	4,380	4,474	4,372	4,214	4,108	51,984
目標値	4,552	3,447	3,906	4,200	3,995	4,801	4,450	4,226	4,315	4,218	4,061	3,965	50,135
実績値	3,712	2,839	3,185	3,398	3,549	3,280	3,405	3,077	3,467	3,671	4,546	4,946	45,343
対目標比	123%	121%	123%	124%	146%	135%	136%	124%	85%	90%	89%	80%	-
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	-
目標値	4,552	7,998	11,905	16,105	20,100	24,900	29,350	33,576	37,891	42,110	46,170	50,135	50,135
実績値	3,712	6,551	9,736	13,134	15,869	19,418	22,698	26,103	31,180	35,851	40,397	45,343	45,343
対目標比	123%	122%	122%	123%	127%	128%	129%	129%	122%	117%	114%	111%	111%
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境監視実績データ一覧（全社分その2）

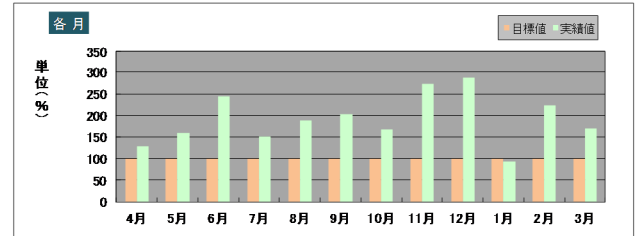
■再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加



5.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加				年度目標		基準値比12%増加						単位:kg	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H18年度実績	98,010	109,955	108,531	87,509	87,797	117,449	106,543	90,485	89,132	52,163	51,023	114,461	1,113,058
目標値	109,771	123,150	121,555	98,010	98,333	131,543	119,328	101,343	99,828	58,423	57,146	128,196	1,246,625
実績値	118,230	143,423	131,461	199,164	152,112	214,753	130,615	136,760	124,899	119,916	114,597	161,055	1,746,985
対目標比	108%	116%	108%	203%	155%	163%	109%	135%	125%	205%	201%	126%	-
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
累計	109,771	232,921	354,476	452,486	550,818	682,361	801,689	903,033	1,002,860	1,061,283	1,118,429	1,246,625	1,246,625
実績値	118,230	261,653	393,114	592,278	744,390	959,143	1,089,758	1,226,518	1,351,417	1,471,333	1,585,930	1,746,985	1,746,985
対目標比	108%	112%	111%	131%	135%	141%	136%	136%	135%	139%	142%	140%	140%
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

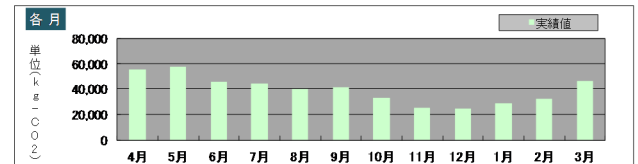
■社員による有価物類の回収

6.社員による有価物類の回収		年度目標		目標達成率100%以上		単位:%
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	128	159	245	150	187	203
対目標比	128%	159%	245%	150%	187%	203%
評価	○	○	○	○	○	○
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	167	272	287	93	224	170
対目標比	167%	272%	287%	93%	224%	170%
評価	○	○	○	x	○	○



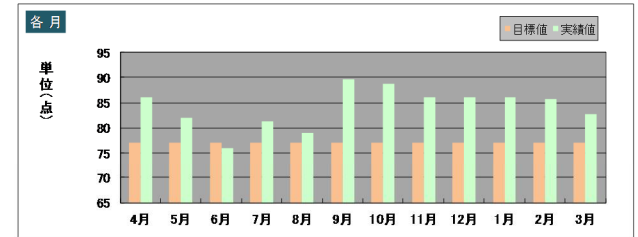
■太陽光発電事業によるCO2削減

7.太陽光発電事業によるCO2削減		単位:kg-CO2					
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実績値	56,008	57,588	45,365	44,097	39,939	41,210	
累計	56,008	113,596	158,961	203,058	242,997	284,206	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績値	32,781	25,098	24,529	28,553	32,248	46,173	
累計	316,987	342,085	366,615	395,167	427,415	473,588	



■ドライブレコーダーシステムによるエコ運転管理

8.DRシステムによるエコ運転管理		年度目標		77点以上(100点中)		単位:点
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標値	77	77	77	77	77	77
実績値	86	82	76	81	79	90
対目標比	112%	106%	99%	106%	103%	116%
評価	○	○	x	○	○	○
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値	77	77	77	77	77	77
実績値	89	86	86	86	86	83
対目標比	115%	112%	112%	112%	111%	107%
評価	○	○	○	○	○	○



■新規アイテムのリサイクル業務

9.新規アイテムのリサイクル業務		単位:					
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実績値							
累計							
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績値							
累計							



今期も目標達成に向けて削減を意識し、活動した結果、全項目設定目標を概ね達成する事が出来ました。

しかし、大雪の影響による水漏れが発生したため、水道使用量の計測については、一部除外としました。

有益な項目として今期より追加した「新規アイテムのリサイクル」につきましては、今後多くの発生が予想されますので、リサイクル業務については大変重要であると考えます。

来年度は基準値を見直し、新たな目標値を定め、更なる環境パフォーマンスの向上に努めて行きたいと思っております。

5. 教育訓練

2014年度教育訓練計画（全社分）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関
1. 一般教育	・EMS概要、環境マネジメント活動全般（方針、目的目標、EMP等含む）	本社及び東北事業所の管理者・一般従業員 全員	1回	6・7月	環境管理課 推進リーダー
2. 特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	・総務課関連手順教育（省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5・6月	部門責任者
		・業務部関連手順教育（省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5・6月	部門責任者
		・東北事業所関連手順教育（省エネ管理手順書他） 適用者全員	1回	5・6月	環境管理課 推進リーダー
3. 専門教育	・産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新・新規）	・産業廃棄物収集運搬業責任者	1回	8月	指定会場
4. 内部監査員教育	・環境監査員養成講座（環境管理責任者主催コース）	内部監査員候補者 1名	1回	9・10月	環境管理責任者
	・環境監査リーダー（主任監査員）教育	主任監査員に昇格し、初めて監査リーダーを務める者 1名	1回	9・10月	環境管理責任者
	・環境監査員ブラッシュアップ教育	認定済監査員（監査の前の訓練）	1回	10月	内部監査リーダー
5. 防災訓練・緊急事態対応訓練	・わが社が特定している緊急事態 ・緊急事態発生時での対応及び処置 ・緊急事態の実際の訓練	緊急事態が想定される業務に従事している従業員（本社および東北）	1回	9月	部門責任者 推進リーダー
		会社全体に関わる緊急事態（火災や大地震想定）：全従業員	1回	9月	環境管理課 推進リーダー

当社では、毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。

一般教育



教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して、実施しております。

特定教育



机上での教育と併せ、現場での想定訓練を実施しております。

緊急事態対応訓練

毎年1回、緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施し、対応手順の確認や、テスト、備品類の整備を実施しております。



6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例

排出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。



サーバー等 機器の場合

素材毎に選別した状態



HDD を取り出した状態

当社は、顧客情報や業務上知り得た情報について、機密性を重要視し、漏洩等がないよう、スタッフ一同、訓練を受け、認識し、セキュリティ義務を遵守しております。

また、排出事業者からのご要望がございましたら、リサイクル報告書、廃棄証明書、廃棄(解体)写真の提出、または搬入時に担当者の現場立会等により、適正処理状況を確認して頂いております。



HDD を破碎した状態

株式会社XXXXX 株式会社		リサイクル報告書																					
産業廃棄物処理証明書 株式会社XXXXX株式会社 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 TEL: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX		リサイクル処理報告書 株式会社XXXXX株式会社 〒〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 TEL: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX E-mail: xxxxxx@xxxxx.co.jp																					
下記の内容を記載したものを提出いたします。 処理数量： 〇〇〇〇kg 特 別 品： 〇〇〇〇kg 廃棄年月日： 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 備考事項： 〇〇〇〇		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鉄</td><td>100</td><td></td></tr> <tr><td>非鉄</td><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>20</td><td></td></tr> <tr><td>プラスチック</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>190</td><td></td></tr> </tbody> </table>	品名	数量	備考	鉄	100		非鉄	50		ガラス	20		プラスチック	10		その他	10		合計	190	
品名	数量	備考																					
鉄	100																						
非鉄	50																						
ガラス	20																						
プラスチック	10																						
その他	10																						
合計	190																						
備考欄 〇〇〇〇		処理年月日： 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 処理場所： 〇〇〇〇 処理担当者： 〇〇〇〇																					

SAMPLE

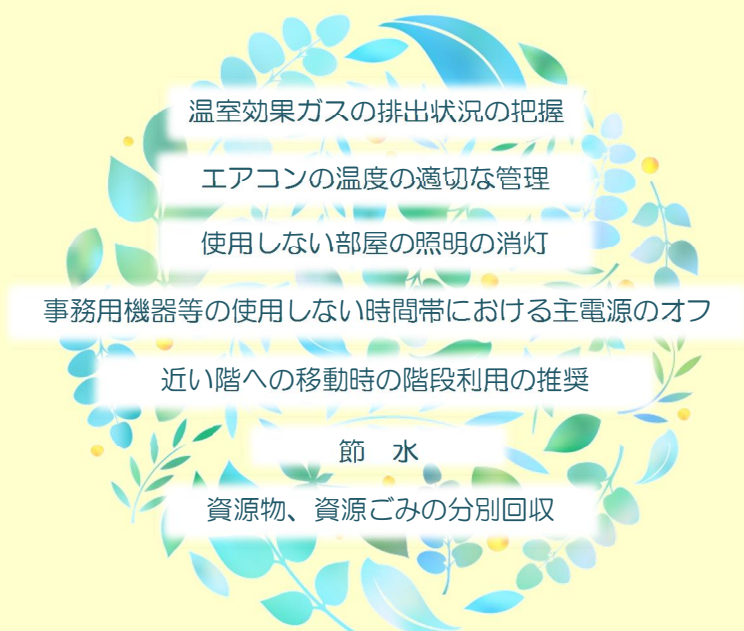
7. 地球温暖化対策の取組み

栃木県より「エコキーパー事業所」として認定されました。

エコキーパー事業所とは、栃木県内において、地球温暖化対策に関し優れた取組みを実施している事業所の事です。事業活動において、地球温暖化対策を実施し、かつ温室効果ガスの排出量を削減していることが要件となっており、地球温暖化対策の取組状況や温室効果ガス削減状況に応じ、3つのランクに区分して認定されます。当社は最高ランクの認定要件を満たし、★★★ランクで認定されました。

認 定 要 件

(1) 基本的な取組 …… 以下の7項目すべてを実施していることが必要です。



(2) 発展的な取組 …… 基本的な取組以外に、更に各事業所が自主的に実施している地球温暖化対策を5項目以上実施していると、★★又は★★★ランクの認定を得ることができます。

エコキーパー事業所「発展的な取組」の例

- 推進体制
環境マネジメントシステムの取組、従業員教育 他
- 省エネルギー
証明の人感センサー導入、エネルギー使用量のグラフ化 他
- 新エネルギー
グリーン電力証書の購入、太陽光発電の導入 他
- 自動車
車両毎の燃費把握、エコドライブ・エコ通勤の推進 他
- 3R
用紙削減、社内LANによるペーパーレス化 他
- 緑化
敷地内の緑化、緑の募金への寄付 他
- 情報開示
環境への取り組み方針の公開、環境報告書の作成・公開 他



認定証

8. 地域社会への取り組み（クリーン活動）

本社及び東北事業所の工場周辺を当社の従業員が、一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



本社工場付近
クリーン活動の様子



東北事業所付近
クリーン活動の様子

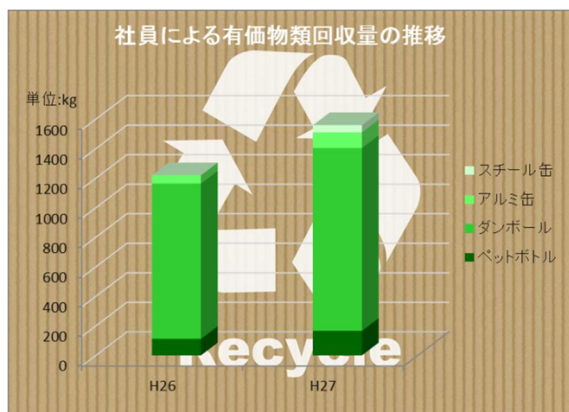
9. その他の環境活動

- (1) 東北事業所にて、グリーンカーテンを実施致しました。7月～10月まで実施し、前年度の同時期の電力消費量に比べて13%程度、電力使用量を削減する事ができました。



- (2) 当社では、従業員による有価物類のリサイクル活動を行っております。

前年度の回収量を上回り、各従業員が意識し、環境パフォーマンスの向上に努めております。



今後の取組み予定

弊社太陽光発電施設の第三期工事と、その他数件の自社発電所の建設を予定しております。

また、弊社が製造販売しております「NASU-MATERIAL」の太陽光発電モジュールを設置頂いております発電施設の建設需要の高まりに伴いまして、施設設置エリアを伐採する際に発生する枝葉や根などの木屑を破砕し、チップ化する自走式木材破砕機の導入が決まりました。

それにより、木屑が発生する現場でチップ化することが出来、その場でチップ材・敷料として、リサイクルすることが可能となります。

最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

2015年 6月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰台